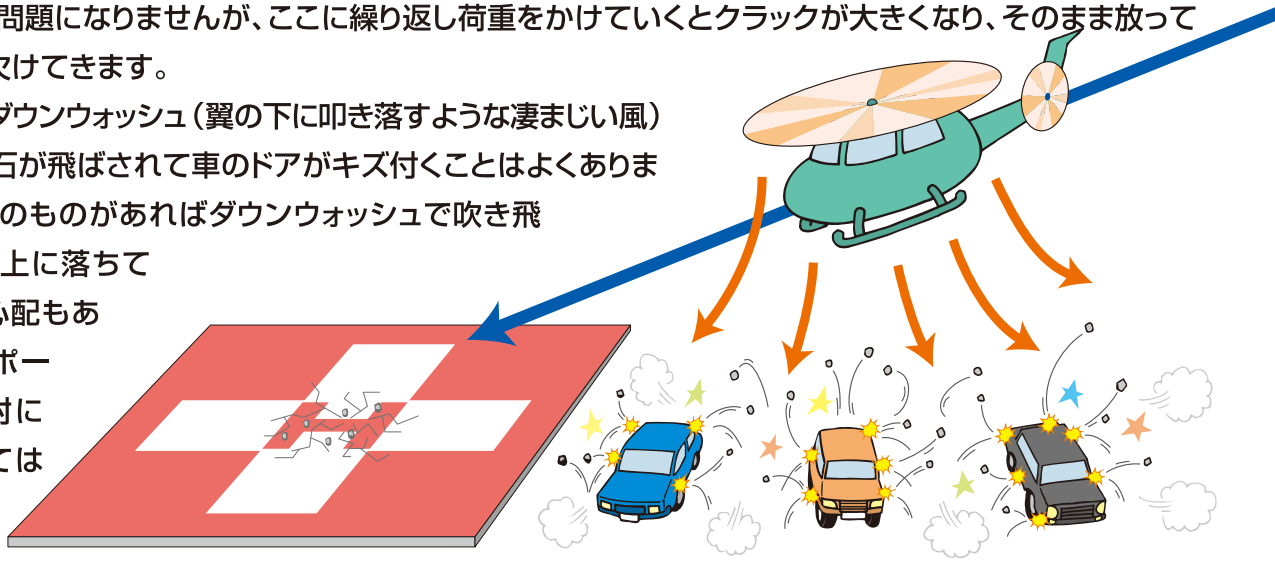
コンクリートヘリポートは、必ずクラックが生じる！

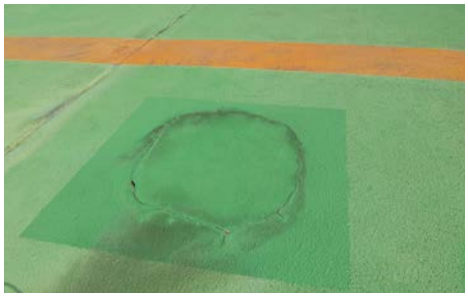
コンクリートは打設後に収縮が始まり、いずれはクラック（ひび割れ）が生じます。ヘアークラックと呼ばれる微細なものはさほど問題になりませんが、ここに繰り返し荷重をかけていくとクラックが大きくなり、そのまま放っておくとクラックが欠けてきます。

ヘリコプターのダウンウォッシュ（翼の下に叩き落すような凄まじい風）は強烈で、砂や小石が飛ばされて車のドアがキズ付くことはよくあります。床面に小石状のものがあればダウンウォッシュで吹き飛ばされ、それが地上に落ちて事故につながる心配もあります。高床ヘリポートの床面には絶対に小石を発生させてはダメなのです。



■繰り返し荷重がコンクリートの寿命を縮める

■防水層は必ず剥がれる



■さらに、もっと恐ろしい「鉄筋爆裂」

エアロファシリティー株式会社
ホームページ www.aero.co.jp
〒105-0004　東京都港区新橋 1-9-5 KDX 新橋駅前ビル 11F
TEL.03-5402-6810